

第5章

ともに進める持続可能なまち

第1節 ともに進めるまちづくりの推進

第2節 持続可能なまちづくりの実現



第1節 ともに進めるまちづくりの推進

第1項 多様な主体との協働の推進

基本方針

住民や地域団体、事業者などの多様な主体と行政がそれぞれの役割を分担しながら、ともに進めるまちづくりを推進します。また、行政情報がすべての人に届くよう、さまざまな形での情報発信に努めることで、開かれたまちづくりを進めます。また、自治会をはじめとするコミュニティ活動の支援を行うとともに、地域における交流活動拠点の活用を図りながら、住民主体の地域交流を推進します。

施策の方向性

ともに進めるまちづくりの推進

ライフスタイルの変化や少子高齢化の進展などに伴い、地域課題が多様化・複雑化する中、それぞれのニーズや課題に対応したサービスが求められているため、団体・個人の強みをいかした住民協働による特色あるまちづくり活動を促進するとともに、多様な主体と連携することで、ともに進めるまちづくりを推進します。

開かれたまちづくりの推進

多様な主体との協働によるまちづくりを推進するためには、地域の現状や課題などの情報をより一層住民と共有していくことが求められているため、さまざまな手段による広聴活動や情報公開制度の適正な運用を図ります。また、町広報や町ホームページ、SNS などを通して必要な情報を提供することで、住民の関心を高め、開かれたまちづくりを推進します。

地域交流の推進

社会構造の変化に伴い、地域の役員の固定化や高齢化が進む中、自治会をはじめとする各種団体や地域活動団体の継続・活性化を図るとともに、住民ニーズに応じた新たな活動に取り組む団体を支援する必要があります。

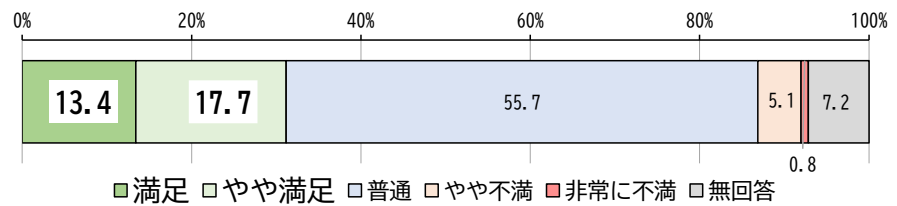
自治会活動を支援するとともに、自治会加入を促進します。また、社会福祉協議会と連携し、各種ボランティア団体などの活動の支援に努めます。

さらに、地域やまちを元気にする自発的な活動を支援するとともに、多様な団体などと交流活動拠点の活用を図りながら連携し、特色をいかした交流イベントを開催するなど、地域交流を推進します。

第5章 ともに進める持続可能なまち

成果指標（住民満足度の向上をめざします）

“多様な主体との協働の推進”の施策満足度
（令和7年度調査）



ともに進めていく取組

自助の取組

- 町広報や町ホームページ、SNS などを活用し、町の情報に興味をもちましょう。
- 住民アンケートに協力して、まちづくりへの関心を高めましょう。
- 自治会に加入しましょう。
- ボランティア活動に参加しましょう。
- 地域団体の活動に参加しましょう。

共助の取組

- 職員おでかけ講座をみんなで利用しましょう。
- 地域でまちづくり活動を企画しましょう。
- まちづくり活動にみんなで参加しましょう。
- みんなで協力して地域課題の解決に取り組みましょう。



第2節 持続可能なまちづくりの実現

第1項 効率的な行財政運営の推進

基本方針

持続可能な行財政運営を推進するため、行財政改革や自主財源の確保に取り組むとともに、社会の変化に対応できるデジタル技術を活用した情報化、職員の人材育成、民間活力の活用により、未来へつなぐまちづくりをめざします。

施策の方向性

持続可能な行財政運営の推進

少子高齢化や人口減少などの社会情勢に対応した適正な行財政運営を行う必要があるため、継続的で安定した行政サービスの提供に向けた行財政改革に取り組むとともに、公共施設などのインフラ資産の長寿命化や強靱化などを計画的・効率的に行うことで、持続可能な行財政運営の推進を図ります。

また、税・料金の収納率の向上の取組を進めるとともに、使用料の見直しや新たな歳入手段の検討など、自主財源の確保に取り組めます。

デジタル技術を活用した情報化の推進

Society5.0時代において、IoTやAIなどの先端技術を積極的に取り入れ、複雑多様化した行政課題の解決に活用していく必要があるため、住民の利便性の向上や行政事務の効率化を図る自治体DX（デジタルトランスフォーメーション）に取り組むことで、デジタル技術を活用した情報化を推進します。

職員の人材育成

持続可能なまちづくりを進めるには、職員がさまざまな行政課題への対応力や政策形成能力を身につける必要があるため、多様な研修機会を活用しながら職務能力の向上を図り、専門的な知識や能力を備えた職員の人材育成に努めます。

また、職員がAIを含むデジタル技術やデータを適切に活用できるよう、デジタルスキルの向上に努めます。

またさらに、元気な挨拶や丁寧な接遇、コンプライアンスや経営感覚の醸成など、住民から信頼される職員を育成します。

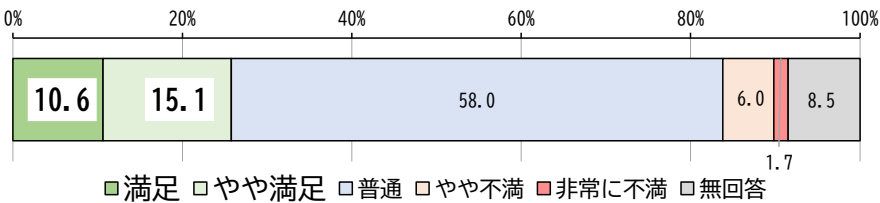
民間活力の活用

住民やNPOなどと連携して効率的な行政運営を進めるため、引き続き公共施設などの管理・運営について、指定管理者制度などによる民間活力の活用を図ります。

第5章 ともに進める持続可能なまち

成果指標（住民満足度の向上をめざします）

“効率的な行財政運営の
推進”の施策満足度
（令和7年度調査）



ともに進めていく取組

自助の取組

- 行政運営や財政状況に関心を持ちましょう。
- 税の仕組みを理解して、正しく納めましょう。
- デジタル技術への関心を深めましょう。
- マイナンバーカードをつくり利用しましょう。

共助の取組

- 公共施設をみんなで大切に使いましょう。
- SDGs にみんなで取り組みましょう。

第2節 持続可能なまちづくりの実現

第2項 広域行政と連携交流の推進

基本方針

近隣市町との連携を強化するとともに、広域的な事業を推進します。また、専門的な知識をもった大学などの教育機関や企業・事業所、町内の各種団体と連携・交流を図ることで、魅力的なまちづくりを推進します。

施策の方向性

広域的な事業の推進

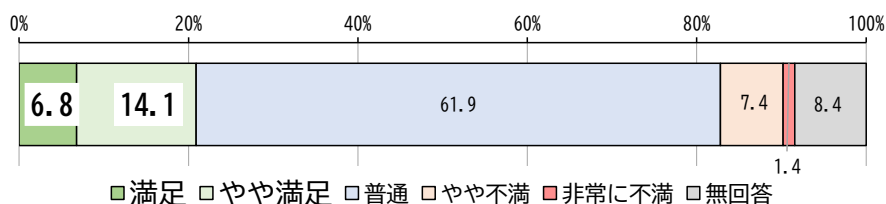
効率的な行政運営には、広域のスケールメリットをいかした事業連携が必要であるため、ごみ処理や電力の地産地消、下水道、保健・医療分野などにおいて、引き続き関係市町と連携しながら広域的な事業を推進します。また、道路整備をはじめとしたさまざまな分野における広域的な課題解決に向け、近隣市町と連携し、関係機関に働きかけます。

連携・交流の推進

魅力的なまちづくりを進めるには、新たな発想による取組が必要であるため、連携協定を結んだ兵庫大学をはじめ、地域の大学や企業・事業所などとの連携・交流を推進することで、地域活性化に必要な人材育成に取り組みます。

成果指標（住民満足度の向上をめざします）

“広域行政と
連携交流の推進”
の施策満足度
(令和7年度調査)



ともに進めていく取組

自助の取組

- 広域的なイベントに参加しましょう。
- 学生が行う連携イベントに参加しましょう。
- 大学が行うキャリアアップ教育に参加しましょう。

共助の取組

- 広域的な課題にみんなで関心を持ちましょう。
- 広域的な課題解決に向けて、みんなで協力しましょう。
- みんなでまちづくりを考えましょう。